

螃蟹开理发店

新美南吉

(翻译 萩田丽子)

螃蟹考虑再三，开了一家理发店。

螃蟹能作出这样一个决定，相当了不起！

但是，过了一段时间，螃蟹就觉得理发的生意太清闲了，因为一个顾客也没来。

于是，螃蟹理发师就拿着剪刀去了海滨。

一只章鱼正在那儿睡午觉。螃蟹喊：

“喂，章鱼大哥！”

章鱼被他吵醒，问道：“什么事呀？”

“我是理发师，你要不要剪头发？”

“你仔细看看我有没有头发！”

螃蟹仔细一看，章鱼的脑袋光秃秃的，连一根头发也没有。

这下子没办法了，手艺再好，没头发你理什么呢？

于是螃蟹又去了山里。一只獾子正在睡午觉。

“喂，獾子大哥！”

獾子醒了，问道“什么事呀？”

螃蟹说：“我是理发师，要不要剪剪你身上的毛呀？”

獾子最喜欢搞恶作剧，眼睛一转，想出一个坏主意，说：

“好吧！我让你剪，不过你得连我爸爸身上的毛也一起剪。”

“没问题，包在我身上！”

能展示理发手艺的好机会终于来了。

咔嚓咔嚓，咔嚓咔嚓！

小小的螃蟹要剪掉獾子全身上下的毛，可不是一件容易的事。他怎么剪也剪不完。

不过螃蟹生性要强，虽然累得满嘴吐白沫，还在拼命地剪。

整整剪了三天，终于剪完了。

狸子说：“谢谢你！现在，该给我爸爸剪了。”

“可是……，你爸爸的个头有多大呀……？”

“不太大，跟那座山差不多吧。”

螃蟹傻眼了，心里想，他自个儿肯定干不完。

于是，螃蟹让他的孩子们都当了理发师。

而且，子子孙孙，世世代代，螃蟹都当了理发师。

这就是为什么我们看到的小螃蟹都有剪刀的原因。



(日本語原文) かにのしょうばい

新美南吉

かにがいろいろかんがえたあげく、とこやをはじめました。

かにのかんがえとしてはおおできでありました。

ところでかには「とこやというしょうばいは、たいへんひまなものだな。」とおもいました。ともうしますのは、ひとりもおきやくさんがこないからであります。

そこで、かにのとこやさんは、はさみをもってうみっぱたにやってきました。

そこにはたこが、ひるねをしていました。

「もしもし、たこさん。」と、かにはよびかけました。

たこはめをさまして、「なんだ。」といいました。

「とこやですが、ごようはありませんか。」

「よくごらんよ。わしのあたまにけがあるかどうか」

かには、たこのあたまをよくみました。

なるほどけはひとすじもなくつるんこでありました。

いくらかにがじょうずなとこやでも、けのないあたまをかることはでき

ません。

かには、そこで、やまへやってきました。

やまにはたぬきがひるねをしていました。

「もしもし、たぬきさん。」

たぬきはめをさまして、「なんだ。」といいました。

「とこやですが、ごようはありませんか。」

たぬきは、いたずらがすきなけものですから、よくないことをかんがえました。

「よろしい、かってもらおう。ところで、ひとつやくそくしてくれなきやいけない。というのは、わたしのあとでわたしのおとうさんのけもかってもらいたいのさ。」

「へい、おやすいことです。」

そこで、かにのうでをふるうときがきました。

ちよっきん、ちよっきん、ちよっきん。

ところが、かにというものはあまりおおきなものではありません。そのうえたぬきというものは、からだじゅうがけむくじゃらであります。ですからしごとはなかなかはかどりません。

かにはくちからあわをふいていっしょうけんめいはさみをつかいました。

そしてみっかかかって、やっとしごとはおわりました。

「じゃ、やくそくだからわたしのおとうさんのけもかってくれたまえ。」

「おとうさんというのは、どのくらいおおきなかたですか。」

「あのやまくらいあるかね。」

かにはめんくらいでした。そんなにおおきくては、とてもじぶんひとりでは、まにあわないとおもいました。

そこで、かには、じぶんのこどもたちもみなとこやにしました。こどもばかりか、まごもひこも、うまれてくるかにはみなとこやにしました。

それで、わたしたちがみちばたにみうけるほんにちいさなかにできえも、
ちゃんとはさみをもっています。

.....
本文テキストは青空文庫（日本ペンクラブ電子文藝館編輯室）よりダウンロードし、歴史的かなづかい
を現代かなづかいに改めたものです。